

全国協会 新型コロナ感染拡大予防ガイドラインを策定

(公社)全国ビルメンテナンス協会は5月29日、「ビルメンテナンス業における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を策定して公表した。

政府の基本的対処方針や専門家の提言などを踏まえて、「感染防止のための基本的な考え方」と「具体的な対策」を策定。具体的な対策では、「リスク評価」「施設内の各所における日常清掃の対応策」「定期清掃・特別清掃」「設備管理」「施設警備」「従業員

(自社内勤務者を含む)の感染管理」の各項目で詳細な対策を明示。サービスを提供する施設の用途に応じて、具体的な感染予防を検討し、実践することを求めている。

また、ビルメンテナンス業の従業員は、新型コロナウイルスに感染すると重症化するリスクが高いとされる高齢者が多いことから、感染拡大の予防に加え、従業員の安全確保のためにも業界を挙げて本ガイドラインを普及させる必要があるとしている。

厚生労働省は3月31日、「令和元年賃金構造基本統計調査」の結果をとりまとめて公表した。調査は賃金の実態を明らかにするため6月分の賃

令和元年賃金構造基本統計調査

ビル清掃員は20万2800円

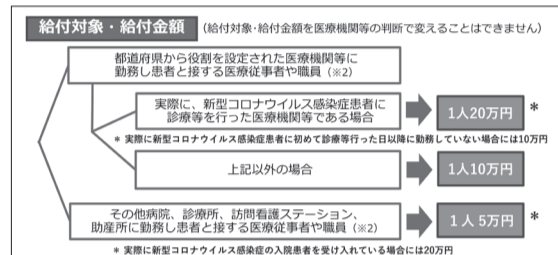
区分	企業規模計(10人以上)						労働者数(10人)
	年齢(歳)	勤続年数(年)	所定内実労働時間数(時間)	超過実労働時間数(時間)	きまって支給する現金給与額(千円)	所定内給与額(千円)	
ビル清掃員	54.6	8.4	163	9	202.8	189.3	8,806
警備員	51.6	9.1	167	25	248.6	208.3	17,999

金等については7月に実施。今回は、企業規模が10人以上の定期的に支給する現金給与額は、ビル清掃員が20万2800円、警備員が24万8600円となった。

東京ビル政連の動き

- 令和2年6月7月の動き
- 〔6月15日〕緊急都連支部長・常任総務並びに各種団体常任世話人会合同会議出席
- 〔6月18日〕東京都知事選告示(6月24日・25日) 都議補欠選挙自民4候補に推薦状交付
- 〔6月25日〕各種団体協議会事務局長会議出席
- 〔6月26日〕東京都議会議員補欠選挙告示各候補出陣式
- 〔7月2日〕第114回理事会
- 〔7月5日〕東京都知事・東京都議会議員補欠選挙

新型コロナウイルス感染症対応従事者 慰労金交付事業について



厚生労働省は、医療機関に従事する医療従事者や職員に対して慰労金を給付している。対象は、「医療機関等に勤務し、患者と接する医療従事者等」で、外部委託をしている従事者も対象となっており、ビルメンテナンス業でも、院内清掃等の業務は対象となる。設備や機器の保守点検などは一般的には対象となりにくいと考えられるが、委託業務の内容により各医療機関等の実態に応じて判断されている。

給付金額は勤務した施設により分けられており、一人5〜20万円となる。申請は勤務する医療機関等を通じて、医療機関等が所在する都道府県が定める窓口にて申請を行うこととなっている。

東京都では7月28日から窓口が開設され、受付を開始している。詳細は東京都福祉保健局のホームページ「東京都新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業」(https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/ryo/kansen/irokin.html)を参照していただきたい。

厚労省

「新しい生活様式」での熱中症予防の要点を公表

厚生労働省は5月29日、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、身体的距離の確保やマスクの着用、手洗い、3密(密集、密接、密閉)を避けるなどの対策を取り入れた「新しい生活様式」における熱中症予防行動の4つのポイントを取りまとめて公表した。

「マスクの着用について」では、基本的な感染対策として着用を求めるとともに、着用していない場合と比べて、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇する

「日頃の健康管理について」では、定時の体温測定、健康チェックは熱中症予防にも有効であり、日ごろから自分の身体を知り、健康管理を充実させることを推奨している。

東京協会 熱中症対策上の留意点を公表

(公社)東京ビルメンテナンス協会は6月10日、「新型コロナウイルス感染症禍における熱中症対策上の作業留意点」を作成し、公表した。熱中症発症要因や熱中症の症状、新型コロナウイルス感染症対策などを説明したあと、次の9つ作業留意点を挙げている。

- ① マスク着用での作業は、体内に熱がこもりやすく適宜休憩を取り入れて無理をしない。
- ② マスク着用での作業においては、水分は小まめにゆつくりと取る。
- ③ 水分は経口補水液に効果がある。(塩分補給)
- ④ マスクの着用については、3密を避けた適切な場所で行う。
- ⑤ マスクの着脱方法については、新型コロナウイルス感染症予防に適切に講じて行うこと。(作業手袋外し↓手指消毒↓マスク外す)(マスク着用は逆パターン)
- ⑥ 熱中症対策グッズの活用
- ⑦ 汗拭きタオルの適切な使用方法。(作業用手袋の未着用あるいは手指消毒後)
- ⑧ 個人の健康管理として、毎日の検温・十分な睡眠・適切な水分補給。
- ⑨ 現場責任者は、熱中症は新型コロナウイルスの症状と似ていることを踏まえ、配下従事者の健康管理を徹底。体調悪い場合は適宜休憩の取得や休暇取得を進め、本担当へ速やかに報告。

全国協会 情報年鑑の最新版を発行! 第50回実態調査報告書「ビルメンテナンス情報年鑑2020」



【発刊】2020年2月26日
【判型】A4版

(公社)全国ビルメンテナンス協会では、ビルメン業界の現状を正確に把握して、課題に適切に対処し、建築物の維持管理サービスを安定的に提供するため、2010年から実態調査に基づく「ビルメンテナンス情報年鑑」を刊行。会員企業をはじめ、官公庁、図書館、大学、研究機関などに無償で配布している。このほど、その最新版が発行された。構成は、「会員企業の雇用および人材育成」「官公庁入札」「従業員不足の実態」など全7章。業界の重要課題の一つである従業員不足については、地区本部別の「不足」と「や不足」を合計した「不足計」で最も高いのは「東北」の87.3%で、「東京」は75.9%となった。人材確保・採用に当たっては「高齢者の採用、活用促進」「既存従業員の知人、友人の紹介、採用促進」「主婦の採用、活用促進」の順となっている。ロボットの導入状況については、本社の「導入実績あり」は10.1%、支社・営業所は同20.0%。2016年度の調査と比べると本社は2倍以上になっており、少しずつではあるが普及が進んでいる状況が確認できている。

東京協会 「外国人従事者育成のための指導者テキスト」を発行



【発刊】2020年3月
【価格】一般：1,100円
会員：550円 (いずれも税込)

(公社)東京ビルメンテナンス協会は、業界の研修指導者が、ビルクリーニング外国人技能実習生の研修で使用する「外国人従事者育成のための指導者テキスト」を発行した。全8章を設けて、清掃の心得や基礎から、清掃器具・機械、ビル建築材料や清掃機械、労働災害、関連法規まで幅広く網羅。各章ごとに「指導のポイント」をまとめるとともに、教材などの写真も豊富に使って、具体的な指導ができるよう工夫している。また、付録として「基本作業の要点」を収録。各実務の作業ポイントについて写真を交えて解説。ビルクリーニング技能検定の「基礎級」に必要な知識と実技を習得できる。

状態と似ていることを踏まえ、配下従事者の健康管理を徹底。体調悪い場合は適宜休憩の取得や休暇取得を進め、本担当へ速やかに報告。

マスク着用での清掃作業は、例年にも増して脱水症状も引き起こす熱中症に注意して進めるよう要請している。